

謹賀新年



安平町長 安井 長孝

町民の皆さま、明けましておめでとございます。

輝かしい新春を迎え謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。皆さまには、平素から町政各般にわたり深いご理解と暖かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年、消費税導入など混乱をきわめた政界も衆議院が解散、29年ぶりの師走総選挙となり、12月16日の投票の結果、自由民主党が再び政権を担うこととなりましたが、国民の付託に応え、混乱のない立派な政治をぜひ実現して欲しいものです。

2012年の漢字大賞は

「金」、金環日食や夏のロンドン五輪での日本人選手の活躍、ノーベル医学生理学賞の受賞など多くの金字塔が立てられたことに起因するものでしょう。2007年特別栄誉賞の称号を贈った7冠馬ディーブインパクト号の産駒ビューティーパーラー号が日本の生産馬として海外のG1で初制覇の偉業を達成、また、国内でもジェンティルドナ号がジャパンカップG1で優勝し、4冠馬となるなど、子どもたちの活躍でこれからも感動を与えてくれるものと期待しています。

2011年3月11日の東日本大震災・原発事故による稼働停止によって電力不足が生じ、代替エネルギーの確保が急務となっておりますが、苦東安平町域内161ヘクタールの土地に111メガワットの日本最大となる大規模太陽光発電施設が2014年秋完成をめざし、民間企業の手で建設の準備が進められているほか、他事業者においてもメガソーラー設置計画が複数箇所予定されております。更に、大震災の教訓から自動車関連

製造等工場のリスクを分散させるという視点から、合併後初めて本町に自動車部品メーカー向けの金型部品製作工場が進出や既存企業の工場増設が行われるなど、地域経済活性化や雇用の拡大に繋がります。明るい話題が相次ぐ変革の年となりました。

昨年の夏は猛暑が続き30年に一度の異常気象となりましたが、農作物は総じて順調に豊穡の秋を迎えることができ大変嬉しく、農家の皆さまの努力に敬意を表します。しかし、今後の農業情勢はTPPなど国内の農業生産基盤が崩壊しかねない事態も生じかねないため、注意深く見守っていかねければなりません。

2010年の全日本ホルスタイン共進会北海道大会は中止となりましたが、2015年に行われる第14回大会は再び地元で開催されることが決まりましたので、町民挙げて成功に向け準備を進めて参ります。

今年には懸案の学校給食センター統合施設整備をはじめデマンドバスの本格的運行とあわせて商店街の賑わいづくり

やコミュニティ活性化対策など住民サービス向上を更に進めて参ります。一方、家庭ゴミの有料化や国民健康保険税率の引き上げによる住民皆さまの負担増をお願いしなければならぬこともあり、まことに心苦しい限りですが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

さて、合併して8年目に入りますが、町総合計画の後期基本計画・第2期中期財政計画の策定をはじめ、まちづくり委員会委員各位のご協力によりマチの憲法ともいえるべき「まちづくり基本条例」の制定をめざし、「チームあびら」の合言葉のもと尚一層町民参加協働のまちづくりに向けて邁進して参りますので、引き続き町民皆さまのご支援ご協力を期待いたします。

新しい年が、皆様にとりまして、希望に満ちた幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。